

ユースクリニック ～サードプレイス×学びの場～

若者の健康と自分らしさを支える拠点の実現に向けて

叡啓大学 山崎祥子

活動のきっかけ・解決したい課題

①性教育に関して

若者が性や健康について学べる場が少ない
相談できる環境が整っていないため、不安や誤った知識が広がる

②孤独に関して

安心して話せる場や支え合える環境が不足している
相談できる大人や仲間が少なく、悩みを一人で抱え込んでしまう
学校や家庭以外に、気軽に立ち寄れるサードプレイスがない

3/8 国際女性デー ミモザの会

生理を
楽しく
学ぼう！

／ 大学生による ／

みんなの保健室

生理・健康・ココロのこと

2025年 3 月 8 日 (土)

10:30～16:00

 **生理のきほん**
生理の仕組みから
月経困難症
PMS (月経前症候群)
生理不順などを学べます
生理について
まだ理解できていない
あなたにおすすめ★

 **生理用品紹介**
どこでも手に入るいつもの
ナプキンに加え
月経カップや
布ナプキンなどの
日本ではまだ見かけない
新しい商品に
実際に触れます★

 **わかもの保健室**
看護師さんと相談会！
誰でも気軽にきて
困っていることなんでも
お話しできます
お一人でも
友達やパートナーとの
参加も大歓迎です★

参加費 無料

申し込み 不要 お好きなタイミングでお越しください！

場所 エソール広島 (おりづるタワー10階)

こちらのインターホンで
「1001」を呼んでね
詳しくは



／ 生理当事者も非当事者の参加もお待ちしております！ ／
観啓大学 やまさき (s22078ee@eikei.ac.jp) 後援: (公財)広島県男女共同参画財団

生理の悩み減らしたい

生理 (月経) への理解を深める
イベント「大学生によるみんなの
保健室」が8日、広島市中区のエ
ソール広島であった。観啓大 (中
区) の学生たちが企画。パネル展
示などを通じ、生理の基礎知識や

生理用品の最新事情を伝えた。
同大ソーシャルシステムデザイ
ン学部3年の山崎祥子さん(21)が
「生理の悩みを1人で抱える人を
減らしたい」と発案。看護学生や看
護師の協力で約3カ月かけて準備
した。パネルでは子宮の働きを説
明。ストレッチなど、生理痛や月
経前症候群 (PMS) の症状を軽
くするとされる方法も紹介した。
会場では布ナプキンや月経カッ
プなど、多様化した生理用品も紹
介。看護師による相談コーナーも
設けた。山崎さんは「誰にとつて
も身近な課題。今後も気軽に話題
にできる場をつくりたい」と話し
た。

さまざま生理用品を来場者に
紹介する山崎さん (右端)

中区で大学生たち催し パネルや用品紹介

国際女性デー
2025

活動の概要

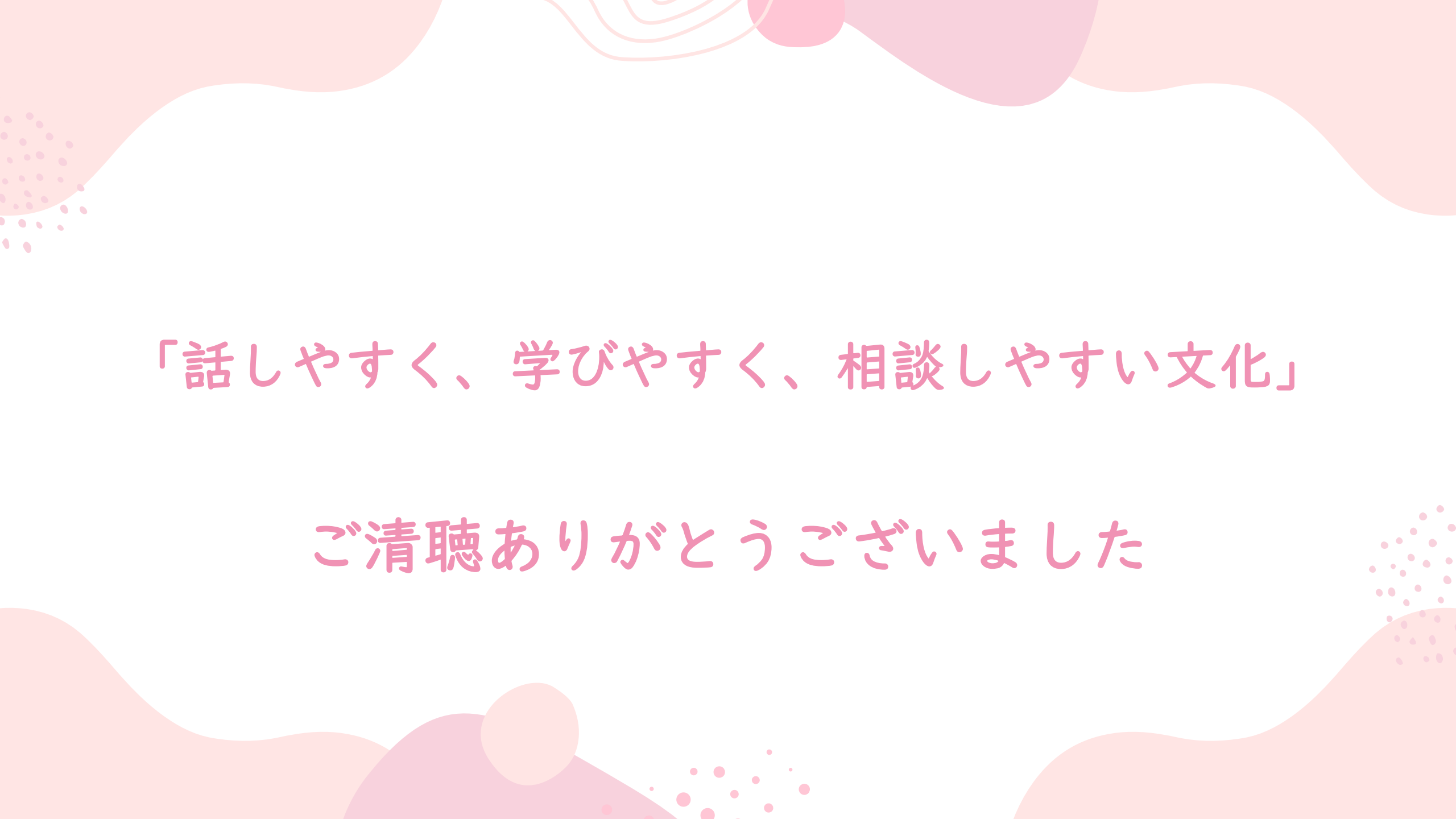
「みんなの保健室」＝
主に学生が安心して学び、相談できる場

- サードプレイスの提供
- 生理用品等の展示
- ワークショップ
- 看護師との個別相談



今後の目標

- ・ 若者が安心して相談できる環境をつくる
- ・ 性教育の理解度を向上し、将来的な社会課題を減らす
- ・ 孤立する若者を減らし、支え合える文化を育てる



「話しやすく、学びやすく、相談しやすい文化」

ご清聴ありがとうございました